

《履修上の留意事項》精神保健福祉士国家試験を受験予定の者は必ず履修すること。

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格習得のための「精神保健福祉の原理」に該当し、また第3学年前期の「精神保健福祉の原理」の履修も必要となるため、履修漏れに気を付けること。

《担当者名》 鈴木 和 suzuki_w@hoku-iryu-u.ac.jp 向谷地 生良

【概要】

本科目では、精神保健医療福祉に関する法的変遷を含めて、当事者が置かれてきた環境、そこにおける精神保健福祉士の存在意義について理解し、精神保健福祉士としての見方や考え方、行動ができるようになることを目的とする。

【学修目標】

- 1 障害者、とくに精神障害者が置かれてきた環境や処遇について、歴史的変遷も含めて要点を説明できる。
- 2 精神障害者が抱える生活上の生きづらさについて、それらへの取り組みも含めて説明ができ、意見が述べられる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	学習の目的・内容の説明 この科目の概要を理解する。	鈴木、向谷地
2	障害者福祉の理念と基本的展開	「障害」の捉え方や障害者福祉の理念について学び、グループワークを通じて理解を深める。	鈴木
3	障害者福祉の理念と基本的展開	日本の風土や国民性を踏まえた精神障害に関する歴史的な出来事について知り、意見を述べる。	鈴木
4	精神障害と精神障害者の概念	精神保健福祉法における「精神障害者」の定義を理解する。	鈴木
5	精神障害と精神障害者の概念	「精神疾患」と「精神障害」の区分について知り、自分の意見を述べる。	鈴木
6	諸外国における精神保健福祉の歴史	精神障害者を取り巻く社会の歴史的変遷について、海外の出来事や取り組みを知る。	鈴木
7	日本における精神保健福祉の歴史	精神障害者を取り巻く社会の歴史的変遷について日本の出来事や取り組みを知り、グループワークを通じて理解を深める。	鈴木
8	精神障害者の生活特性	精神障害に関する精神科医療による生活への影響について知り、自分の意見を述べる。	鈴木
9	精神障害者の生活特性	日本の精神保健福祉施策における精神障害者家族の置かれている状況について知り、自分の意見を述べる。	鈴木
10	精神保健福祉の理念と概念	日本の精神医療政策に関する歴史について知り現在の精神保健福祉士の存在意義について、グループワークを通じて理解を深める。	鈴木
11	精神保健福祉の理念と概念	精神保健福祉士の実践における価値や原理について知り、自分の意見を述べる。	鈴木
12	北海道における精神保健福祉の歴史	特別講師の講義に関してグループディスカッションや質問を通じて理解を深める。	門屋 充郎（特別講師） 向谷地 鈴木
13	北海道における精神保健福祉の歴史	特別講師の講義に関してグループディスカッションや質問を通じて理解を深める。	永井 順子（特別講師） 向谷地 鈴木
14	本科目のまとめ	本科目で学んだことについてグループディスカッションを通じて理解を深める。	鈴木
15	本科目のまとめ	本科目で学んだことについてグループディスカッションを通じて理解を深める。	鈴木

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート 100%

【教科書】

最新 精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の原理 中央法規出版

【参考書】

その都度、資料を配布する。

【備考】

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格習得のための「精神保健福祉の原理」に該当し、また第3学年前期の「精神保健福祉の原理」の履修も必要となるため、履修漏れに気を付けること。

Google Classroomを利用して学習課題を掲示する。

Google Formを活用し、学生の理解度を把握する。

【学修の準備】

毎回の授業内容を確認し、教科書、必要な資料等を読んで予習しておくこと（予習2時間）

毎回の授業終了後に提示した課題について調べ、まとめることにより学習を深めること（復習2時間）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP5 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

【実務経験】

鈴木 和（社会福祉士、精神保健福祉士）

向谷地 生良（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

精神科医療機関や精神保健福祉行政における精神科ソーシャルワーカーとしての実務経験に基づき、実践的な教育を行う。